

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
		PNL939 (XA2) C11105K ①リフト C11105L ①リフト	
<具体的な手順は以下の通りとする。>			
	<p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">AC系パーゼライン</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 格納容器ベント弁[A0-1601-1]を開可能とするため、下記隔離弁の隔離信号をバイパス(ジャンパー)する。 PNL903 EE38~EE39 ジャンパー</li> <li>2. 不活性ガス系隔離信号バイパスキースイッチを「圧力抑制室」(S/P 水位計 OS の場合「格納容器」)側にする。</li> <li>3. D/Wパーゼファン入口弁[A0-1601-2]を下記ジャンパーにより「開」とする。 PNL903 C1807H AA-31~AA-32 ジャンパー</li> <li>4. 圧力抑制室ベント弁バイパス弁[A0-1601-90] (S/P 水位計 OS の場合、格納容器ベント弁バイパス弁[A0-1601-83])を現場手動ハンドルにより徐々に「開」とする。 (補2) (以上の操作でS/P(D/W)の減圧ができない) 場合には更に以下の操作を行う。</li> <li>5. 圧力抑制室ベント弁[A0-1601-72] (S/P 水位計 OS の場合、格納容器ベント弁[A0-1601-1])を開可能とするため、下記隔離弁の隔離信号をバイパス(ジャンパー)する。 AO-1601-72 PNL903 EE42~EE43 ジャンパー AO-1601-1 PNL903 EE38~EE39 ジャンパー</li> <li>6. 圧力抑制室ベント弁[A0-1601-72] (S/P 水位計 OS の場合、格納容器ベント弁[A0-1601-1])を「開」する。 (補3)</li> </ol>	<p>OS : オーバースケール</p> <p>(補2) 圧力抑制室ベントバイパス弁 [A0-1601-90]の「開」操作は、現場手動ハンドルにより徐々に行うCS操作により「開」にすると、SGTS及びパーゼファンラインの耐圧が低いため破損し、建屋内がPCV内ガスにて汚染する可能性がある。 (R/Bに入れない場合、D/Wパーゼファン入口弁[A0-1601-2]を手動にて徐々に「開」操作する。 この場合、3.で行うパーゼファン入口弁操作を4.の後に行うこと)</p> <p>(補3) 圧力抑制室ベント弁[A0-1601-72]を開にすると、SGTS及びパーゼファンラインの耐圧が低いため破損し、建屋内がPCV内ガスにて汚染する可能性がある。</p>	<p>参考資料 (参考 5) 図 2</p>